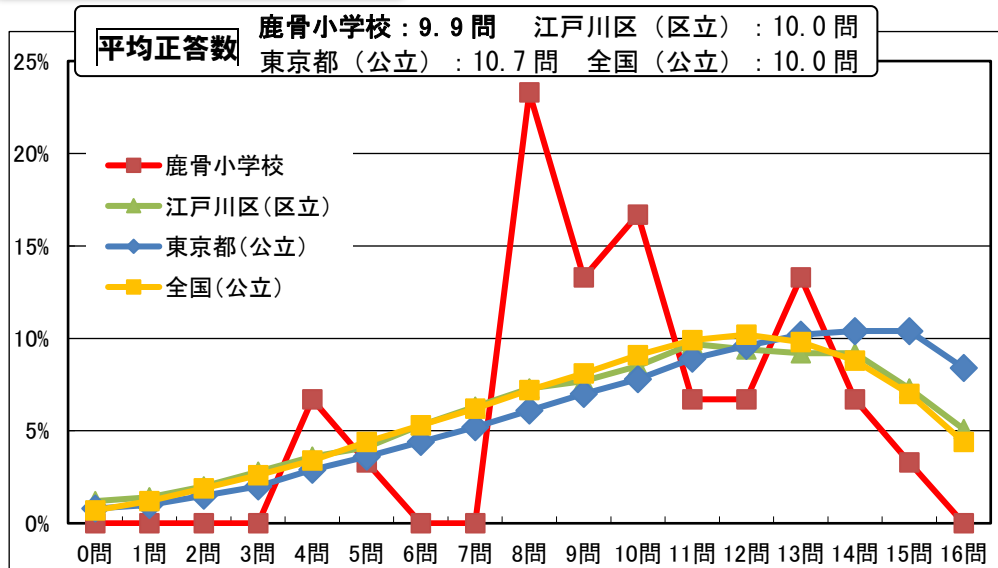
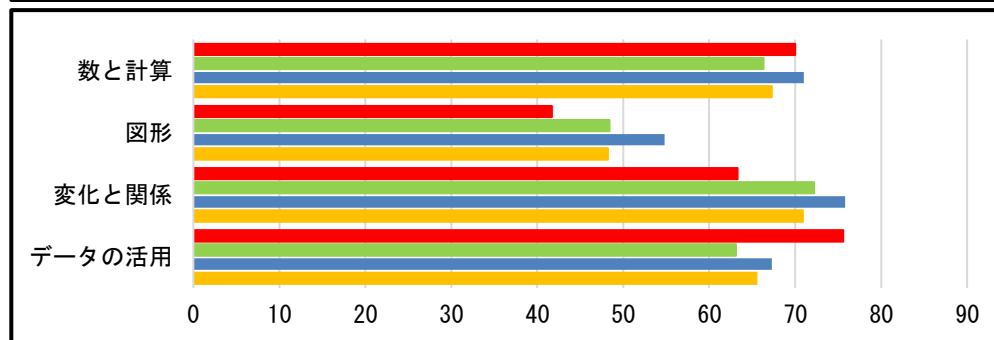
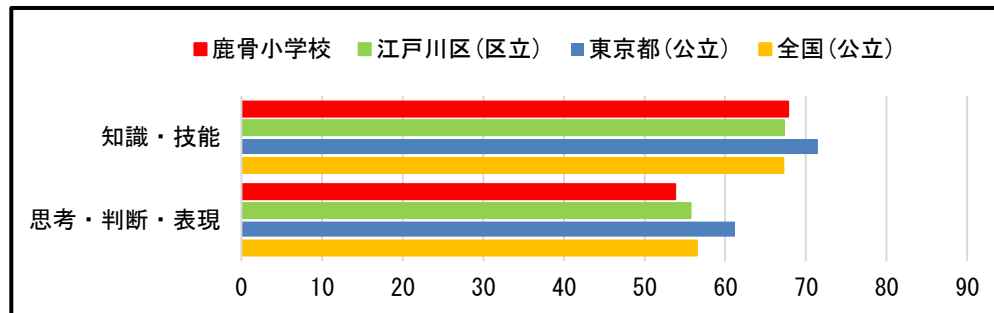


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 鹿骨小学校

## 正答数分布



## 「領域別」の結果



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

算数	四分位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
鹿骨小学校	10	26.7	53.3	10
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

## 【平均正答率の差】

鹿骨小学校	62%
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	5ポイント

## 【分析結果と授業改善に向けて】

本校児童と江戸川区（公立）や全国（公立）との平均正答率は同程度で合ったが、東京都（公立）との差が5ポイントあった。領域別にみると「図形」では、図形の意味や性質についての理解が不十分なままであることが考えられる。また、「変化と関係」では、数や量の変化の特徴を読み取ることに課題があると考えられる。授業では引き続き、習熟の程度に応じて、学年を超えて分からない箇所まで立ち戻る「補充的な指導」や、習熟の早い児童に対して学習をより進めていくための発展的な内容までを扱う「発展的な指導」を行っていく。その他、週3回の朝学習の時間に東京ベーシック・ドリルを、学習用タブレット端末を用いて解き進める取組を進めていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。